

交通網・都市基盤整備調査特別委員会 報告資料

平成30年3月15日

報告事項件名	頁
(1) 足立区総合交通計画改定協議会合同部会の開催結果について	1
(2) コミュニティバス「はるかぜ」の運行便数の変更について	4
(3) 竹ノ塚駅付近鉄道高架化の取組み状況について	7
(4) 地下鉄8号線(有楽町線)整備促進に向けた取組み状況について	8

(都市建設部)

交通網・都市基盤整備調査特別委員会報告資料

平成30年3月15日

件名	足立区総合交通計画改定協議会合同部会の開催結果について					
所管部課名	都市建設部交通対策課					
内容	<p>足立区総合交通計画改定協議会第1回事業者部会及び利用者部会を合同で開催したので、以下のとおり報告する。</p> <p>1 開催概要</p> <p>(1) 日 時 平成30年1月22日(月) 午後3時30分から午後5時まで</p> <p>(2) 場 所 足立区役所 南館13階 大会議室B</p> <p>(3) 委員名簿 別紙1参照</p> <p>2 主な議題</p> <p>(1) 事業者部会及び利用者部会の運営、スケジュールについて</p> <p>(2) 現行計画の検証及び課題整理について</p> <p>(3) 公共交通空白地域への対応について</p> <p>(4) 区民アンケートの実施について</p> <p>(5) 意見交換</p> <p>3 主な意見 別紙2参照</p> <p>4 「足立区の交通に関する意識調査」について</p> <p>(1) 配布数 11,000人</p> <p>(2) 配布対象者 15歳以上の男女無作為抽出</p> <p>(3) 配布・回収期間 平成30年2月9日から2月28日</p> <p>(4) 配布・回収方法 郵送</p> <p>(5) 調査用紙 別添資料1</p> <p>(6) 回収数 2,053人(18.6%)</p> <p>5 今後の予定</p> <table border="1" data-bbox="379 1697 1430 1962"> <thead> <tr> <th data-bbox="379 1697 683 1742">年 月 日</th> <th data-bbox="689 1697 1430 1742">主 な 内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="379 1742 683 1962">平成30年3月22日</td> <td data-bbox="689 1742 1430 1962"> 第2回事業者部会、利用者部会 ・足立区の交通に関する意識調査結果報告(速報) ・バス計画路線の見直しについて ・多様な交通手段の活用について ・超高齢社会に対応した交通サービスについて </td> </tr> </tbody> </table>		年 月 日	主 な 内 容	平成30年3月22日	第2回事業者部会、利用者部会 ・足立区の交通に関する意識調査結果報告(速報) ・バス計画路線の見直しについて ・多様な交通手段の活用について ・超高齢社会に対応した交通サービスについて
年 月 日	主 な 内 容					
平成30年3月22日	第2回事業者部会、利用者部会 ・足立区の交通に関する意識調査結果報告(速報) ・バス計画路線の見直しについて ・多様な交通手段の活用について ・超高齢社会に対応した交通サービスについて					
問題点 今後の方針	引き続き、平成30年度末の計画改定に向け、協議会や各部会において、より実効性かつ実現性の高い計画の検討を進めていく。					

足立区総合交通計画改定協議会部会名簿

事業者部会

区分	団体名	氏名	備考
学識経験者	大学教授（東洋大学）	岡村 敏之	部会長
関係事業者	東京都交通局自動車部	和田 明	
関係事業者	国際興業株式会社	木部 康久	
関係事業者	東武バスセントラル株式会社	深津 光市	
関係事業者	京成バス株式会社	上田 浩一	
関係事業者	日立自動車交通株式会社	西窪 裕光	
関係事業者	朝日自動車株式会社	高橋 直樹	
関係事業者	株式会社新日本観光自動車	佐久間 洋行	
関係事業者	東京ハイヤー・タクシー協会	樽澤 正人	
関係事業者	東日本旅客鉄道株式会社	村上 基宏	
関係事業者	首都圏新都市鉄道株式会社	工藤 真紀	
関係事業者	東京地下鉄株式会社	木津 和久	
関係事業者	東武鉄道株式会社	小瀧 正和	
関係事業者	京成電鉄株式会社	石井 貴史	
関係事業者	東京都交通局電車部	吉浦 宏美	
区議会議員		鈴木 あきら	
区議会議員		くぼた 美幸	
区議会議員		長澤 興祐	

利用者部会

区分	団体名	氏名	備考
学識経験者	大学准教授（筑波大学）	谷口 綾子	部会長
関連団体代表者	足立区障害団体連合会	原 則子	
関連団体代表者	足立区老人クラブ連合	野村 英夫	
関連団体代表者	子ども支援専門部会	飯田 今日子	
関連団体代表者	まちづくり推進委員会	原口 秀子	
公募委員		松場 孝一	
公募委員		志自岐 亜都子	
公募委員		鈴木 真理子	
公募委員		中島 晃一郎	
公募委員		廣瀬 均	
区議会議員		新井 ひでお	
区議会議員		はたの 昭彦	

主な意見

項 目	発言者	意見
公共交通空白地域への対応について	区議会議員	<ul style="list-style-type: none"> ・どの地域でも一律に公共交通を利用できる環境が必要と考える。 ・オンデマンド等の交通により利便性向上を図るのは必要だが、公共交通によって移動を支えることが必要である。 ・公共交通空白地域の解消は優先にすべき。
	公募委員	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通空白地域ではないが、バス運行本数が少ない地域がある。このような地域の対策も必要である。 ・バス交通にも限界があることを認識した上で、バス以外の新しい交通手段を地域ごとに検討する必要がある。
区民アンケートの実施について	区議会議員	<ul style="list-style-type: none"> ・無作為抽出で配布するのではなく、外出に不便な人等に特化した配布が必要ではないか。 ・交通が充足している地域から更なる要望が上がってくることで想定されるため、結果の分析は慎重に行うことが必要である。 ・追加調査を行う際は、公共交通空白地域外の不便な地域を対象とした実施が必要である。
	公募委員	<ul style="list-style-type: none"> ・回答者の年齢層に偏りが想定されるため、満遍なく意見を集約することが必要である。 ・交通に対する課題を把握するために、区内全域に調査を実施することは必要である。
	交通事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・バスの遅延に関する満足度の結果を受け、バス専用レーンを整備する等、道路の渋滞対策の検討が必要である。
その他	学識経験者	<ul style="list-style-type: none"> ・交通利便性を向上させるためには、財政面の課題も生じてくる。民間事業者が努力するのか、行政が負担するのか等、役割分担を検討する必要がある。

交通網・都市基盤整備調査特別委員会報告資料

平成30年3月15日

<p>件名</p>	<p>コミュニティバス「はるかぜ」の運行便数の変更について</p>										
<p>所管部課名</p>	<p>都市建設部交通対策課</p>										
<p>内容</p>	<p>運行事業者から運行便数の変更を行う旨の連絡があったので、以下のとおり報告する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 運行事業者 日立自動車交通株式会社 2 変更予定日 平成30年3月15日(木) 3 変更対象路線 <ul style="list-style-type: none"> (1) 1号 西新井駅東口～青井駅～東綾瀬区民事務所 (2) 9号 青井駅～東和病院前～亀有駅南口 (3) 10号 西新井駅西口～扇一丁目～高野駅 (4) 12号 西新井駅東口～五反野駅～亀有駅南口 <p>「対象路線案内図」</p>  <p>凡例</p> <table border="1" data-bbox="1002 1816 1481 2063"> <thead> <tr> <th>バス停</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>はるかぜ 1号</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>はるかぜ 9号</td> <td>———</td> </tr> <tr> <td>はるかぜ 10号</td> <td>====</td> </tr> <tr> <td>はるかぜ 12号</td> <td>.....</td> </tr> </tbody> </table>	バス停		はるかぜ 1号	●	はるかぜ 9号	———	はるかぜ 10号	====	はるかぜ 12号
バス停											
はるかぜ 1号	●										
はるかぜ 9号	———										
はるかぜ 10号	====										
はるかぜ 12号										

4 運行便数変更内容

(1) 1号

(便数は往路と復路を含む)

始発	経由	終点	曜日	現行便数	変更後便数	増減
西新井駅 東口	青井駅	東綾瀬区 民事務所	平日	102便	79便	-23便
			土休日	80便	69便	-11便

利用実態に合わせ日中時間帯の運転間隔の拡大、所要時間の延長

東綾瀬区 民事務所	青井駅	栗島住区 センター	平日	3便	4便	+1便
			土休日	2便	3便	+1便

利用実態に合わせ夜時間帯の西新井駅行き1便を栗島住区センター行きへ

青井駅	足立区 役所	西新井駅 東口	平日	4便	3便	-1便
			土休日	2便	3便	+1便

利用実態に合わせ運行便数の見直し、所要時間の延長

ア 利用実態 (平成28年度)

平均1か月あたり乗車人員 42,832人

平均1便あたり乗車人員 延べ13人 / 35人 (定員)

イ 収支必要乗車人員【試算】

平均1便あたり乗車人員 延べ26人 / 35人 (定員)

(2) 9号

(便数は往路と復路を含む)

始発	経由	終点	曜日	現行便数	変更後便数	増減
青井駅	東和病 院前	亀有駅 南口	平日	40便	22便	-18便
			土休日	39便	11便	-28便

利用実態に合わせ一部の便を綾瀬駅東口発着へ変更、所要時間の延長

綾瀬駅 東口	東和病 院前	亀有駅 南口	平日	42便	49便	+7便
			土休日	10便	38便	+28便

利用実態に合わせ青井駅及び12号の一部便を綾瀬駅東口発着へ変更

東和病院 前	東和 五丁目	綾瀬駅 東口	平日	11便	16便	+5便
			土休日	0便	4便	+4便

利用実態に合わせ朝時間帯と夜時間帯の増発、所要時間の延長

ア 利用実態 (平成28年度)

平均1か月あたり乗車人員 30,197人

平均1便あたり乗車人員 延べ10人 / 35人 (定員)

イ 収支必要乗車人員【試算】

平均1便あたり乗車人員 延べ21人 / 35人 (定員)

(3) 1 0 号

(便数は往路と復路を含む)

始発	経由	終点	曜日	現行便数	変更後便数	増減
西新井駅 西口	扇 一丁目	高野駅	平日	30便	24便	-6便
			土休日	28便	20便	-8便

利用実態に合わせ日中時間帯の運行便数の見直し、所要時間の延長

ア 利用実態 (平成28年度)

平均1か月あたり乗車人員 4,012人

平均1便あたり乗車人員 延べ4人 / 35人 (定員)

イ 収支必要乗車人員【試算】

平均1便あたり乗車人員 延べ17人 / 35人 (定員)

(4) 1 2 号

(便数は往路と復路を含む)

始発	経由	終点	曜日	現行便数	変更後便数	増減
西新井駅 東口	五反野 駅	亀有駅 南口	平日	44便	43便	-1便
			土休日	30便	31便	+1便

利用実態に合わせ運行便数の見直し、所要時間の延長

ア 利用実態 (平成28年度)

平均1か月あたり乗車人員 16,908人

平均1便あたり乗車人員 延べ12人 / 35人 (定員)

イ 収支必要乗車人員【試算】

平均1便あたり乗車人員 延べ34人 / 35人 (定員)

問題点
今後の方針

バス事業者に対し、利用者への周知を徹底するよう要請するとともに、区もホームページ等を活用し情報発信を行う。

交通網・都市基盤整備調査特別委員会報告資料

平成30年3月15日

件名	竹ノ塚駅付近鉄道高架化の取組み状況について
所管部課名	鉄道立体推進室竹の塚整備推進課 鉄道関連事業担当課
内容	<p>竹ノ塚駅付近鉄道高架化の取組み状況について、以下のとおり報告する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 鉄道高架化工事の進捗状況について（別添資料2） 2 工程の遅延について（別紙参照） 3 竹ノ塚駅付近鉄道高架化促進連絡協議会理事会の開催結果について <ol style="list-style-type: none"> （1）日 時 平成30年2月6日（火） 午前11時から （2）場 所 竹の塚地域学習センター1階 第一会議室 （3）主な内容 <ol style="list-style-type: none"> ア 竹ノ塚駅付近連続立体交差事業の工程の遅延について イ その他 4 竹ノ塚駅周辺地区まちづくり連絡会の開催結果について <ol style="list-style-type: none"> （1）日 時 平成30年3月2日（金） 午後6時から （2）場 所 竹の塚地域学習センター1階 第一会議室 （3）主な内容 <ol style="list-style-type: none"> ア 鉄道高架化工事の進捗状況について イ その他
問題点 今後の方針	<ol style="list-style-type: none"> 1 鉄道事業者との連携や国・都の積極的な協力を得て、早期の完成を目指す。 2 着実な事業の進捗に向けて、国庫補助金等の財源確保に努める。

工程の遅延について

1 遅延の原因

草加方の高架橋を建設した際に使用した鋼矢板が、線路内に埋設していることを確認したため、この鋼矢板の撤去が必要となる。

< 鋼矢板の概要 >

< 埋設量 >

- ・枚数 約 2,000 枚
- ・延長 延べ約 800 m

撤去できる量は、1日5枚程度で、作業時間や場所により異なる。

イメージ図
 ■ : 既設
 ■ : 最終形

鋼矢板が支障となる箇所

2 今後の工事スケジュール

鋼矢板の撤去を行うため、スケジュールが変更になる。

- ・上り急行線高架化は、2019（平成31）年3月から2020年9月へ（18か月遅れ）
- ・全線高架化（営業線）及び踏切解消は、2021年3月から2022年3月へ（12か月遅れ）

年度	2018 (平成30)	2019 (平成31)	2020	2021	2022以降
当初		2019.3 ● 上り急行線高架化		2021.3 ● 全線高架化(営業線) 踏切解消	2022年4月以降の工程(精査中) ・仮設ホームの撤去工事 ・沿線道路の復旧工事 ・高架下施設の工事 ・西口駅前広場の工事等を行う。
今後の予定		+18か月	2020.9 ● 上り急行線高架化	+12か月 2022.3 ● 全線高架化(営業線) 踏切解消	

【6か月短縮するための主な取組み】

- ・日曜の昼間も作業を実施
- ・区と東武鉄道で協議し、踏切解消までの工事手順を変更

交通網・都市基盤整備調査特別委員会報告資料

平成30年3月15日

件名	地下鉄8号線（有楽町線）整備促進に向けた取組み状況について
所管部課名	鉄道立体推進室竹の塚整備推進課 鉄道関連事業担当課
内容	<p>地下鉄8号線（有楽町線）整備促進に向けた取組み状況について、以下のとおり報告する。</p> <p>1 梅まつりPR活動の結果について</p> <p>(1) 日時 平成30年3月4日（日） 午前10時から午後4時まで</p> <p>(2) 場所 大谷田公園</p> <p>(3) 主な内容</p> <p>ア パンフレット配布、事業説明</p> <p>イ 事業PRパネル展示 （地下鉄8号線、メトロセブン、竹ノ塚駅付近鉄道高架化）</p> <p>ウ 鉄道ぬりえの実施（小学生以下対象）</p>
問題点 今後の方針	<p>1 答申に示された課題の整理と問題点の抽出を行っていく。</p> <p>2 早期実現に向けて、促進大会やPR活動等を強化し、地域機運の醸成を図っていく。</p>